小倉市青年普選聯盟の名の下に行はれた普選斷行大演說會及び大示威行列は既報の如く昨十五日正午より市内馬借町宗玄寺に於て行はれた、此日凜烈たる寒氣身に迫り剩へ雪さへ降らんとする空模樣にも拘らず

## 泥濘を踏む

で定刻前より集る者無慮一千名時間勵行で正午先づ川上爾男氏開會の辭を述べ矢鳴敏行、森村作雄、川上明男、藤木阿南諸氏及び力丸良之助氏等新進の氣を負ふ青年は急霰の如き拍手に迎へられ各起て立憲政體當面の急務たる普選斷行を論じ選擧法の矛盾を難じ『赤紙一枚を以て徵集し得る我等青年に酬ゆるに一枚の投票用紙を以てせよ』と絶叫し選擧法の改正に對する

## 時勢の進步

に就いて洋の東西、事物の表裏を相比較して說き去り說き來る青年の意氣は天に冲し爲めに一般聽衆も緊張なる警察官の門衛を尻目にかけて悠々入場する者漸次數を増し午後二時に至るや聽衆數千名に達し流石に廣き會場も立錐の餘地が無い程であつた此時小倉市

## 青年の意氣

に感じて八幡市より特に來援した今井嘉幸博士搭乘の自動車が風を切つて同所に驅け附けた時に二時二十分瀟洒たるフロック姿の今井博士は幹事青年達に迎へられ少憩の後壇を踏むや會場は割るゝが如き拍手裡に登壇普選に對する同博士一流の長廣舌を揮ひ滿場の聽衆は恰も醉へるが如くであつた、正三時から

## 大示威運動

に移り四名の乘馬者を先頭に『普選斷行』の文字を大書した大旗十數旒を押し立て續く數千の群衆は一樣に昨紙所報の『普選の歌』を高唱し長蛇の如く蜿蜒市街を練りに練つて宗玄寺町から馬借町を過ぎ大阪町に出で京町を經て常盤橋に到つて無事解散したが非常に盛會であつた

於て十四日午後六時より普選斷行政談演說會を同町青年有志の主催にて堀川渡邊兩氏の外國會普選斷行同盟委員を聘して開催した當夜は豪雨激しかりしも雨をついて集まる熱心なる聽衆無慮三百森谷潤南氏の開會の辭に始まり『勇猛心』昌川光一『床次内相の三大惡政』岩野十寸二『普選斷行の秋』後藤薫『思想問題と普選』長谷部諸氏諸氏の熱辯後『普選と改造』の題下に渡邊兜子松氏壇上に立ち舌端に火を吐いて現代日本の政治産業教育組織の缺陷を痛罵して倦まざる事二時間最後に普選案の運命の決する所は政友會が是を窮議と爲す予談は自由討議に譲すかにありとなし吾人は極力該案が自由討議たる可く奔走奮鬪する旨を同氏が雄辯に醉へるが如き聽衆に誓つて降壇すれば堀川氏の將たる堀川氏立ちて精密なる統計に依つて經濟的論旨を進めて現内閣の治政宜しきを得ざるを指摘し最後に世界既も一黨の罪惡史を編纂されたものは只政友會のみなりと怒號して降壇後十二時普選萬歲の歡呼裡に閉會した

ての演說大要は左の通りである

普選問題に對する示威運動は大正八年三月一日初めて東京に行はれ翌年大阪に起り今回

## 九州の小倉

に此の矢叫びを聞く事は國家の爲め痛快に堪へない次第である而して天候斯の如く果して以何なるものが降るやら又降り相で降らないと云ふ處天又我等の赤誠を容れ何等かの感應あるものと信ぜらる、示威運動は或る意味に於ける文明の華で且つ國民の意思表示である決して危險思想でもなければ暴動でもない當局が徒らに此れを危險視し暴動視するのは大なる間違ひで即ち當局が暴動として扱ふから暴動になるので所謂色眼鏡に映ずる現在に過ぎないのである殊に此界隈の警察の神經

## 過敏の程度

は殆んど呆るゝの外はない先刻も自分が此の門を入らふとするとき横側から一人の巡査が自分のステッキを奪ひ取つた何たる亂暴であらふか抑々國では議會を一の試驗場として居るが政治の中心が立憲である以上は議會は即ち試驗場であるに間違ひはない此れを我國の選擧狀態を見るに衆議員の立候補者は必ず五萬か十萬の運用金が要る而して其金は中間のブローカーの喰物とされて居る事は公然の秘密ではないか公然の公然で一の反則ではあるが藝者の淫賣と同じく全く通り物とされて居る

## 憾に國法の

違反者である事は明かに判つて居ても一一此れを罰すれば天下の代議士と藝者は罪人だらけになるから多くの場合此れは大目に見過ごされて居る傳ふる所に依れば政友會では選擧の際に一千萬圓も要つた相であるが其金は一體何處から出るか必ず裏面に一大金穴があるのであればこそ今日國民全部が苦しめられて居る物價政策も代議士達が其背後の一勢力を恐れて適切な處置に出で得ないのである詰まり此等代議士は國の政治でなくある少數者の利害の爲の政治である如斯く

## 現今の政治

が國民の爲めでないとすれば須らく其根本を療治しなければならない即ち根本的治療の第一步として茲に普選の急務を說く所以である現在日本全國に國會議員の選擧有權者が二百餘萬あるが今假りに普選を斷行するとなれば現在の有權者は約十倍即ち約二千萬人程に達する次第であるから現今大多數の間に行はれて居る選擧權買收の如き醜いが屆かなくなつて自然と消滅するものである現に自分は大阪市に居て選擧狀態を目擊して居たが買收もないとは云へないが有權者の

## 同性と歡び

を求むる爲めには矢鱈に足を棒にして戶別訪問して居る或る人が落選者に向つて曰く『議員の議の字は言偏でなくて足片でなければならない無暗に足を働かさねば勝てるものでない』と適切な話しだと思ふ世界で選擧に有名な英國で選擧區域の狹少な時代には代議士候補者が有權者の歡心を買ふ階梯として將を射んと欲せば先づ馬を射よ式で其妻君にキッスを需め或る候補者の妻君の如きは有權者の妻君四千人とキッスをやつたさうである日本の如き狹少の國で而も

## 一小區域の

選擧法

此儘それ〳〵繼續して居たならば自然に選擧權の相場が一定するであらう米國では七百萬の選擧を公然買收した者さへあると云ふが其れでも大區域になると中々買收の手段は及ぶものでない選擧權は票數の少い程價値がある恰も紙幣と同じく數が多ければ總て價値がない茲に於て普選は政治の腐敗を防ぐ最良の手段である今日迄國民が多年の因襲から徒らに目醒めず差別や階級に甘んじて自己を悟らずして國民が議會を偶會と考へのつかなかつたのが悪かつたのである

## 國會は國民

の代表であるから國會と名づけたものであるが現在日本の有權者は全國に二百萬人程居る今假りに日本國民が六千萬人として男女各半分即ち男子三千萬人と假定し其の内大人と小供の比例を大人三子供二の割合であつて大人の男子が千八百萬人と云ふ數になる而して其内僅に二百萬人の公權者を除いて殘りの千六百餘萬人の男子は人並の選擧權を持たない譯である此の僅に一割強位の者から物質政策によつて出來上つた國會が果して國民の意思を代表する國會と云へようか此れを以て果して萬機公論に決すと云ふ眞の國會と思ふのは間違ひで

## 議會は僞會

である

と叫ぶ所以である此れでも三十年前の日本では人文未だ進まず盲從的階級制度の時代には此れでも純粹な國會であつたであらうが國運隆昌の今日では社會の事情も民度も全く昔日の俤を認めず即ち往昔の職業に武士をつて貽めいた黃金造りの甲冑も今日では骨董品として好事連に持はやされると同樣に我國現時代の政治も一の骨董品となつて居る此意味に於て普選は當然時代の要求である我國では既に數年前第一期普選問題が提議され次で第二期には其實行方法を講ぜらるゝに當り或る暗流に押流されて荏苒今日に至つて居ると云ふ事は以ての外で遺憾至極に堪へぬ處である然るに

## 維新當時の

革命の實行者は九州男子であつた即ち九州男子の腕に依つて立憲政治の基礎は固められたものである現在全國を關東關西九州の三選擧區域に分たれて居るが此度の普選問題の解決も帝國民の華と唄はれた維新革命の實行者九州男子の鐵腕に依て普く天下の機運を促進し普選斷行の成果を獲得せん事を期して疑はないものである

No.